

福岡空港関連 自動車専用道路の 計画検討に関するアンケート



このアンケートは、福岡空港関連 自動車専用道路の計画づくりの参考にさせていただくため、福岡市より、みなさまにご意見をお伺いするものです。

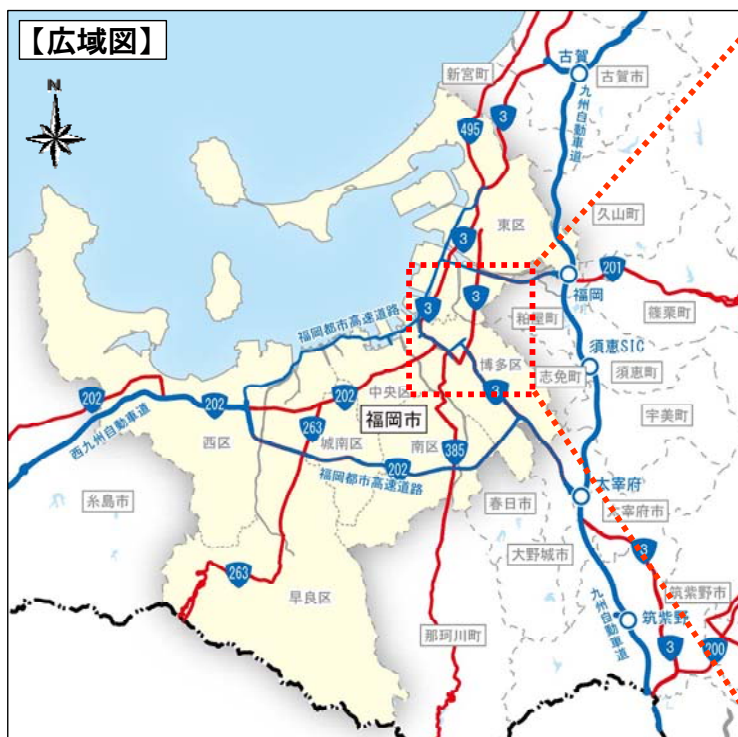
アンケートにご協力くださいますよう、お願いします。

福岡空港関連 自動車専用道路の計画検討区間

(1) 計画検討の内容

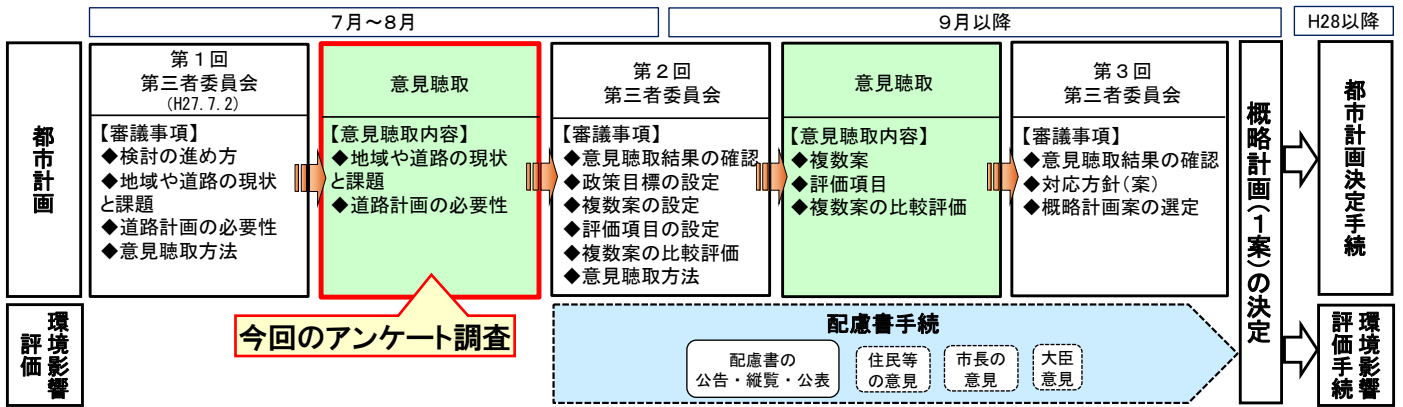
- 福岡空港では、滑走路増設事業が進められており、事業期間は約10年が見込まれています
- 福岡市南部地域や太宰府インターチェンジ方面からの都市高速道路と国内線旅客ターミナルのアクセス改善や、国道3号の混雑緩和を図るため、自動車専用道路の検討を行います

(2) 位置

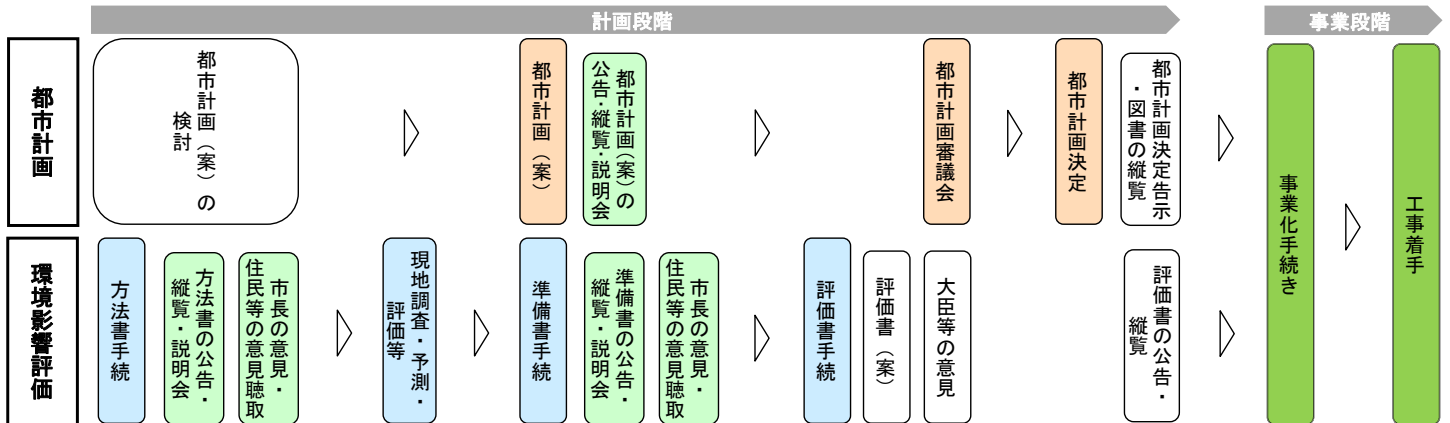


概略計画の検討の進め方

○ みなさまや第三者委員会等のご意見を伺いながら、いくつかの案を検討し、計画の熟度を高めつつ、社会面、経済面、環境面等の様々な観点から総合的に評価して、概略計画を決定します



(参考)平成28年度以降の進め方



「道路計画の必要性(案)」

地域や道路の課題を改善するための方策の方向性は、以下のとおりです。

望ましい交通体系の姿

- 都市の骨格を形成する総合交通体系の構築
- 環境にやさしい交通
- 国内外からの広域的な人流・物流を支える交通

地域や道路の現状

抽出された課題

- 空港アクセス手段の約5割はバス、自家用車等です
都市高速道路から国内線旅客ターミナルまで2～5km程度一般道を走行する必要があります
また、太宰府方面から空港通ランプは利用できません
- 空港周辺の幹線道路は混雑し、自動車の旅行速度は低く、また事故危険性の高い箇所が多い状況です

課題解決策の方向性

- ◎都市高速道路と国内線旅客ターミナルを結ぶなどのアクセス改善により、広域的な交流の促進や公共交通の利便性向上を図ります
- ◎空港周辺道路の混雑緩和や交通の分散化により、人流・物流の円滑化、事故危険性の低減、沿道環境の改善を図ります

地域や道路の現状を踏まえて、課題を抽出し、解決策の方向性を検討しました。
なお、地域や道路の現状などの詳細については、参考資料(5～9ページ)をご覧ください。

アンケートにお答えください

■回答の提出方法

- ・回答は、付属の「アンケート回答用 返信はがき」に記入し、郵便ポストに投函してください。
- ・福岡市のHPでの回答は、回答用紙をダウンロードして、回答を下記アドレスまで送信してください。

E-mail : senyoudou.HUPB@city.fukuoka.lg.jp

■×切

平成27年8月8日までに投函（又は送信）いただきますよう、お願いいたします。
（当日消印有効）

※いただいたご意見等は、統計的な処理にのみ使用いたします。また、他の目的での使用や、第三者に提供することはありません。

問1_福岡空港の利用、空港の近くに用事がある、自動車などで空港の近くを通過するなどの場合の状況についてお聞きします。(選択肢より選択)

当てはまらない方は、問2(次のページ)にお進みください。

(1) 主な目的はなんですか。

(当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

① 飛行機を利用するため

② 「①飛行機を利用するため」以外

①と答えた方にお聞きします。

②と答えた方にお聞きします。

(2) 飛行機を利用する目的はなんですか。

(最も当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

①業務 ②通勤・通学 ③私用 ④その他

(2) それ以外の目的はなんですか。

(最も当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

①業務 ②通勤・通学 ③私用 ④その他

みなさんにお聞きします。

(3) その目的の頻度はどのくらいですか。

(最も当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

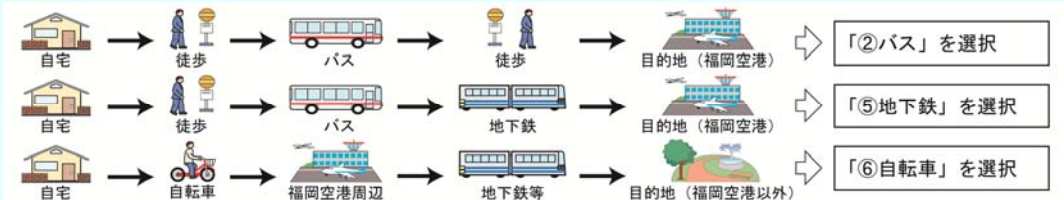
①ほぼ毎日 ②2~3日/週 ③2~3日/月 ④2~3日/年 ⑤数年に1回又は今回が初めて

(4) その目的の主な交通手段は何ですか。

(最も当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

①自家用車(送迎含む) ②バス ③タクシー ④商用車(貨物車含む) ⑤地下鉄 ⑥自転車
⑦徒歩 ⑧その他

(記入例)



(4)で「①~④」と答えた人にお聞きします。

(4)で「⑤~⑧」と答えた人

(5) 都市高速道路を利用しますか。

(最も当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

①ほぼ毎回利用する ②時々利用する ③利用しない

問2にお進み
ください。

(5)で「①~②」と答えた人にお聞きします。

(5)で「③」と答えた人

(6) 以下の中でよく使う出口はどこですか。

(最も当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

①空港通 ②榎田 ③半道橋 ④月隈 ⑤金の隈 ⑥西月隈
⑦その他 ⑧分からない

問2にお進み
ください。

問2_福岡空港関連 自動車専用道路の計画についてお聞きします。

(7) 自家用車やバス等を利用した国内線旅客ターミナルへのアクセスについてどのように思いますか。

(それぞれの項目について、考えに最も当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

項 目	① 不便 である	② やや不便 である	③ ふつう	④ 不便とは 感じない	⑤ 分から ない
1) 都市高速道路のランプから国内線ターミナルまで離れており一般道を走行すること	①	②	③	④	⑤
2) 太宰府方面から空港通ランプを利用できないこと	①	②	③	④	⑤
3) 一般道が混雑していること	①	②	③	④	⑤
4) その他不便と思うこと (自由回答)					

(8) 空港周辺の道路について、どのように思いますか。

(最も当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

空港周辺の道路の状況についてどのように思いますか	① 混雑して いる	② やや混雑 している	③ ふつう	④ 混雑して いない	⑤ 分から ない

(9) 空港周辺の道路を計画する場合、国内線旅客ターミナルのアクセス改善や混雑緩和以外で、最も重視すべきものは何だと思えますか。

(最も当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

① 生活環境 (騒音など) などへの 影響	② 景観などへ の影響	③ 整備費用を 少なくする こと	④ 交通事故の 減少	⑤ 走行時間の 短縮	⑥ 災害に強い	⑦ その他 (自由回答)

(10) その他、課題や重視すべきことなど。(自由回答)

すべての方にお聞きします。(選択肢より選択)

(当てはまる番号を1つ選び、回答欄の数字を○で囲んでください。)

- (1) 住所** 福岡市 (①東区 ②博多区 ③中央区 ④南区 ⑤城南区 ⑥早良区 ⑦西区)
⑧福岡市以外 (市・町) ⑨福岡県外 (都・道・府・県)
- (2) 性別** ①男性 ②女性
- (3) 年齢** ①10歳代 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代 ⑥60歳代 ⑦70歳代以上
- (4) 職業** ①会社員・公務員・団体職員 ②自営業 ③学生 ④家事手伝い ⑤専業主婦・専業主夫
⑥アルバイト・パート ⑦その他 ()
- (5) 自動車運転免許証の有無** ①有 ②無
- (6) 自動車運転** ①する ②しない

ご協力ありがとうございました

【参考資料(5～9ページ)】

参考資料の詳細版は、福岡市のHPに掲載しています。
アンケートの配布場所にも配置しています。

都市高速道路の概要、空港の利用状況

- 福岡都市高速道路は、福岡都市圏における環状・放射状道路網の枢要を担う自動車専用道路であり、九州縦貫自動車道や西九州自動車道と接続しています
- 福岡空港の旅客数は、年間約1,900万人で全国第3位と羽田、成田に次ぐ利用者数です

供用延長:56.8km
平均日利用台数:約17.8万台(H26)



▲都市高速道路路線図

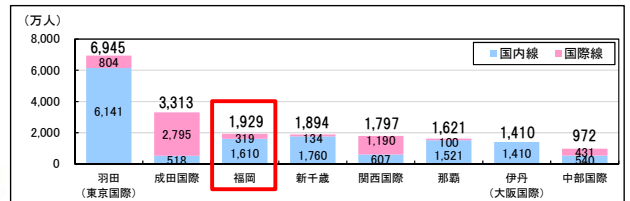
資料：福岡北九州高速道路の概要(福岡北九州高速道路公社)

号線	ランプ	台/日	
		入口	出口
香椎線	平均	3,533	3,314
	金の隈	1,230	1,410
太宰府線	平均	8,888	8,538
	空港通	2,690	2,400
空港線	平均	2,690	2,400
	環状線	2,500	2,190
粕屋線	平均	4,058	4,020
	半道橋	6,530	7,110
環状線	月隈	2,050	1,840
	西月隈	2,000	2,080
	平均	3,921	3,862

▲平成26年度ランプ毎平均交通量

資料：福岡北九州高速道路公社

※トラフィックカウンターによる観測値(誤差を含む)



▲国内主要空港の旅客数(H25年度)

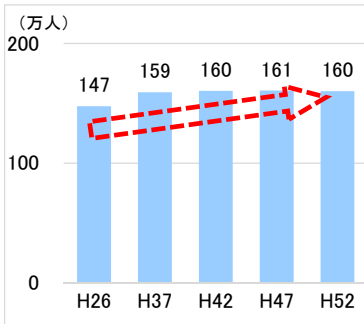
資料：「福岡空港滑走路増設事業における新規事業採択時評価について」(H26.12国土交通省)を基に作成

地域や道路の現状と課題

(1)地域概況(人口、観光・交流)

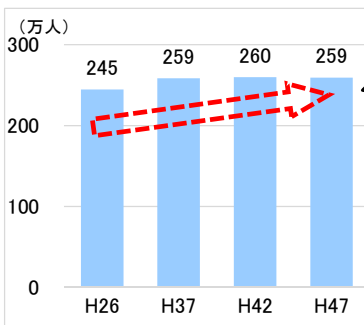
現状

- 福岡市・福岡都市圏の人口は増加傾向です
- 福岡市の観光入込客数や消費額は、近年増加傾向にあり、観光入込客が用いる交通手段は自動車(乗用車、バス)が3分の1強です
- 海外から参加者が集う国際会議の開催件数は、福岡市が全国2位です



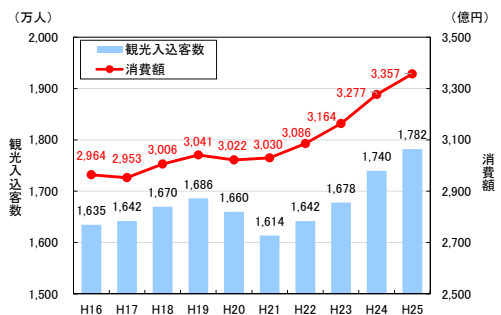
▲福岡市の将来人口

福岡市の将来人口は、
現況から約9%増加
(約13.2万人)



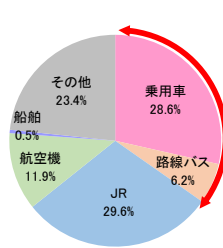
▲福岡都市圏の将来人口

福岡都市圏の将来人口
は、現況から約6%増加
(約14.8万人)



▲福岡市の観光入込客数

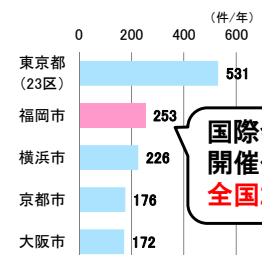
資料：H24年福岡県観光入込客推計調査



▲観光入込客の交通手段

資料：H25年福岡市観光統計

観光入込客の交通手段は自動車(乗用車、バス)が3分の1強



▲都市別国際会議開催状況(H25年)

資料：日本の国際会議開催件数(日本政府観光局)

国際会議の開催件数は全国2位

(2) 渋滞状況

- 現状
- 「空港口」「榎田」「立花寺北」交差点は主要渋滞箇所を選定されています
 - 周辺道路は混雑度※1が1.25を超えており交通量も多いです
 - 「空港口」交差点の前後区間は、時間帯(8時台、18時台)によって走行性が低下しています

凡例	
混雑度	交通量(台/日)
1.5以上	30,000以上
1.25~1.5	15,000~30,000
1.0~1.25	15,000未満
1.0未満	● 主要渋滞箇所

資料：H22道路交通センサス、「地域の主要渋滞箇所」(福岡国道事務所 H25.1.25)

※1 混雑度：交通量/交通容量。混雑度が1.25を超えるとピーク時間帯の前後へも混雑が広がる可能性が高まる

● km/h：高速バスの旅行速度調査結果※2

※2 福岡空港発着の高速バスを対象にした旅行速度調査結果 (H25.11.26福岡市)



<空港口交差点(朝比ヶ) >



<立花寺北交差点(朝比ヶ) >



▲福岡空港周辺の混雑状況(H22道路交通センサス地域の主要渋滞箇所)

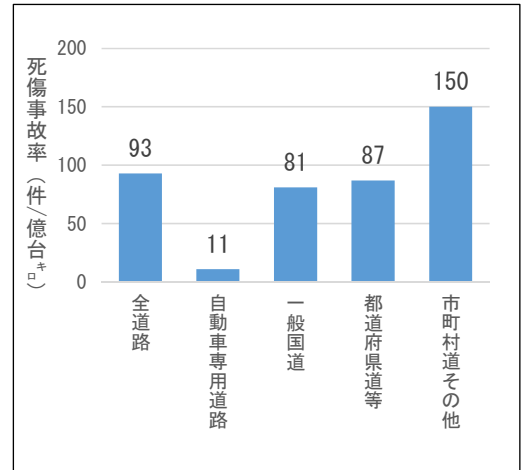
(3) 事故危険性

- 現状
- 国道3号は、事故危険区間リストに選定された箇所が多いです
 - 自動車専用道路は、一般道に比べ死傷事故率が低い傾向にあります



▲空港周辺の事故危険性の高い箇所(直轄国道のみ、単路は除く)

資料：H24年度福岡県事故危険区間リスト(九州地方整備局)



▲道路種類別の死傷事故率の比較(H23年)

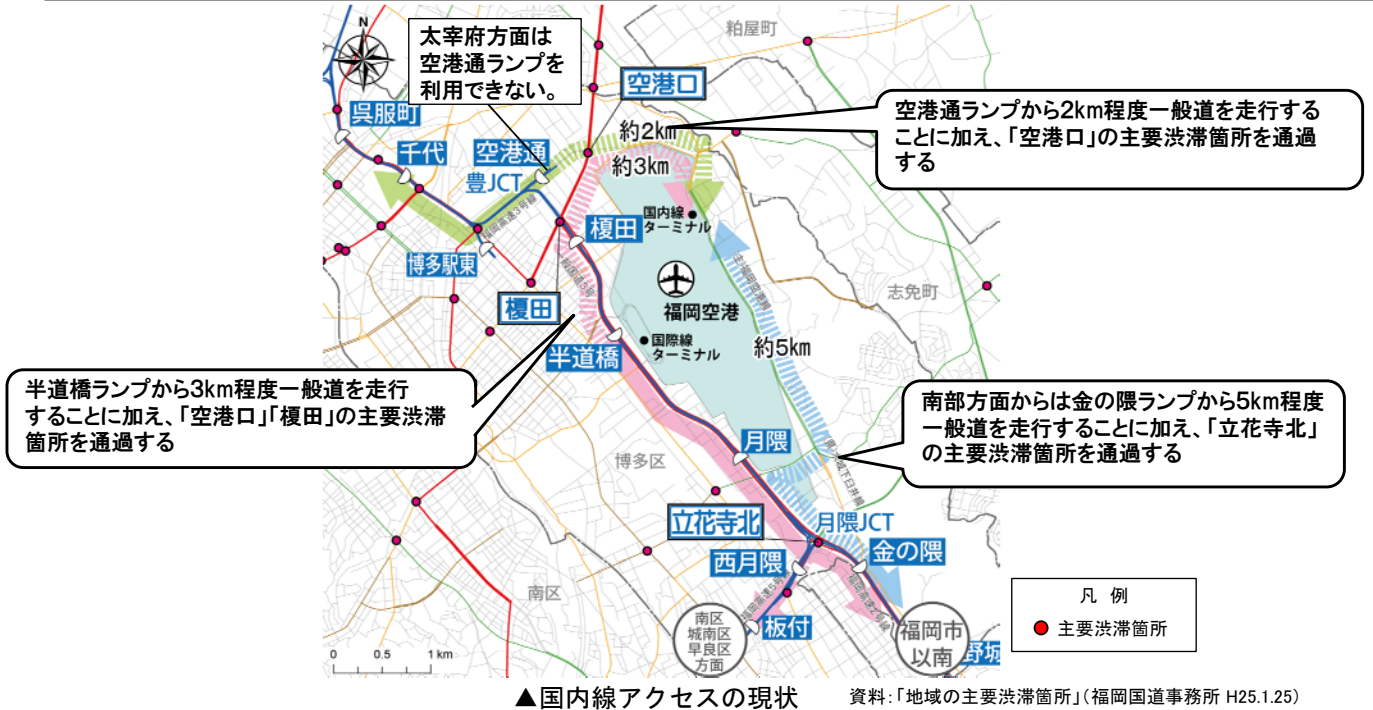
資料：国土交通省(我が国の交通事故死者数・死傷者数・死傷事故件数の状況)

事故危険区間リスト

・国土交通省『事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)』において、福岡県内約480kmの直轄国道を対象とし、交通安全対策を効率的に実施するために、事故データや地域の声を踏まえて、優先的に検討する区間をリスト化したもの

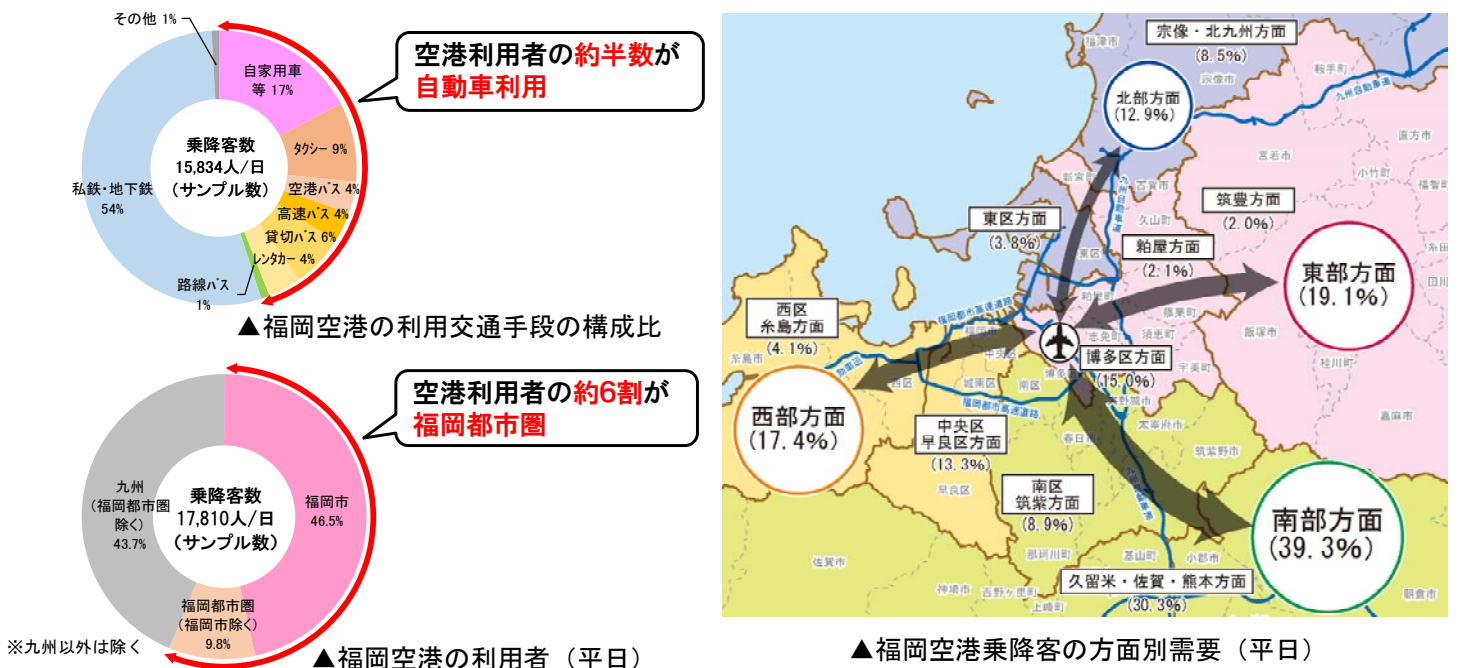
(4) 都市高速道路と国内線旅客ターミナルのアクセスの状況

目標像	○公共交通を軸とし、多様な交通手段が相互に連携した総合交通体系の構築をめざす ＜福岡市都市交通基本計画＞
現状	○国内線旅客ターミナルへのアクセスについては、空港通ランプから2km程度、また南部方面からは金の隈ランプや半道橋ランプから3～5km程度一般道を走行することに加え、「空港口」「榎田」「立花寺北」の主要渋滞箇所を通過しなければなりません



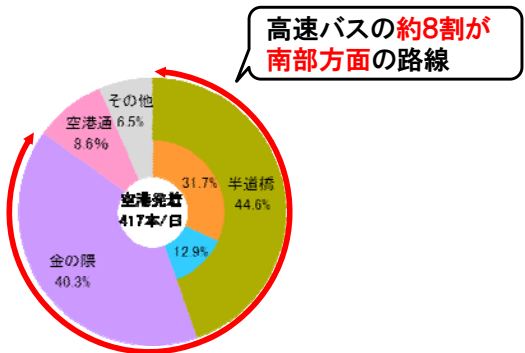
(5) 福岡空港の利用状況(利用者)

目標像	○アジアの交流拠点都市にふさわしい広域的な人流・物流を支える交通をめざす ＜福岡市都市交通基本計画＞
現状	○空港へのアクセス交通手段は、半数が自動車(自家用車・バスなど)です ○九州の空港の利用者は約6割が福岡都市圏、約4割が南部方面です



(6) 福岡空港の利用状況(空港を発着する高速バス)

目標像	○公共交通を主軸とし、多様な交通手段が相互に連携した総合交通体系の構築をめざす ＜福岡市都市交通基本計画＞
現状	○空港を発着する高速バスの8割以上が南部方面の路線です



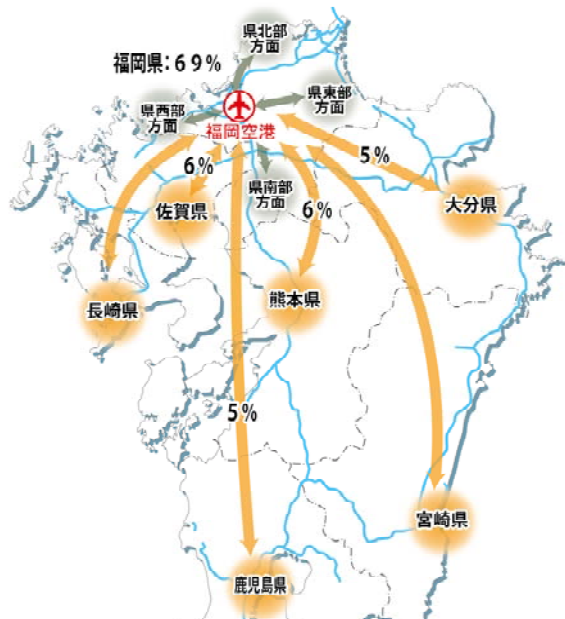
▲空港を発着する高速バスの利用ランプ



▲空港を発着する高速バスの利用経路
資料：福岡空港～小倉・福岡空港～久留米の高速バスを対象にした旅行速度調査結果（H25.11福岡市）

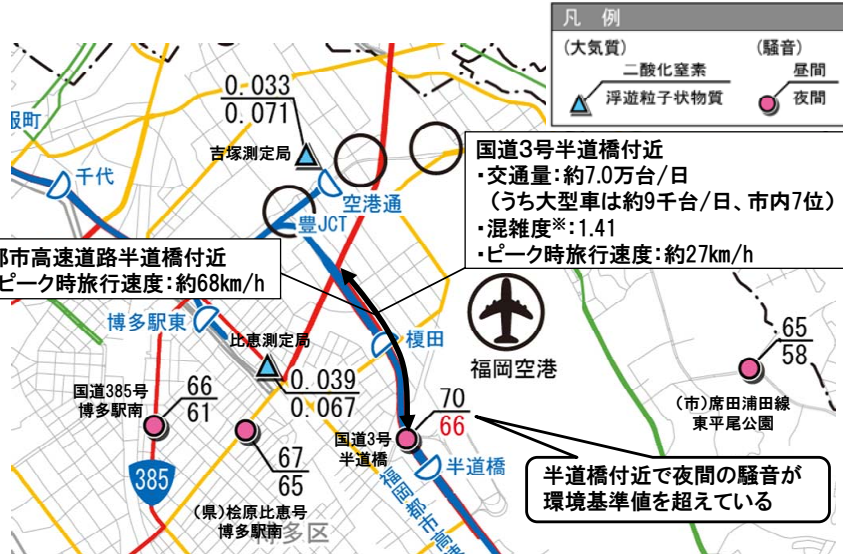
(7) 物流

目標像	○アジアの交流拠点都市にふさわしい広域的な人流・物流を支える交通をめざす ＜福岡市都市交通基本計画＞
現状	○「空港口」、「榎田」交差点周辺には、航空貨物の取扱事業者が集積しています ○福岡空港の航空貨物は、県内をはじめ九州各方面から利用されています



(8) 環境(大気環境、騒音)

目標像	○環境負荷の少ない持続可能な都市を支える交通をめざす<福岡市都市交通基本計画>
現状	○大気環境は、2地点(吉塚、比恵)でいずれも環境基準値以下となっています ○国道3号は、交通量が多く混雑しており低速での走行となっています(自動車のCO ₂ 排出量は低速ほど増加する) ○騒音は、国道3号の半道橋で夜間の環境基準値を超えています



▲空港周辺の大気環境状況、騒音

資料: H25年度の環境監視の結果、H25年度福岡市自動車騒音・道路交通振動測定結果 (H25年度)

環境基準値の設定

■大気環境

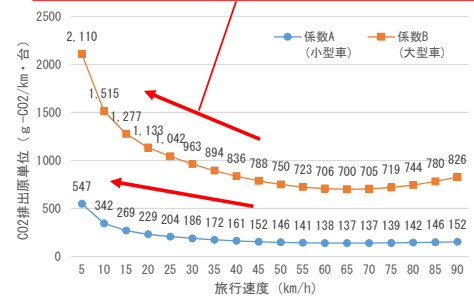
- ・二酸化窒素: 年間日平均値の98%値が0.06ppm以下
- ・浮遊粒子状物質: 年間日平均値の2%除外値が0.10mg/m³以下かつ日平均値0.10mg/m³を2日以上連続して超えないこと

■騒音

- ・昼間70デシベル以下、夜間65デシベル以下 (幹線交通を担う道路に近接する空間についての特例値)

図中の赤字は環境基準値を超えた値

自動車のCO₂排出量は低速ほど増加する (低速車両が多いほど増加)

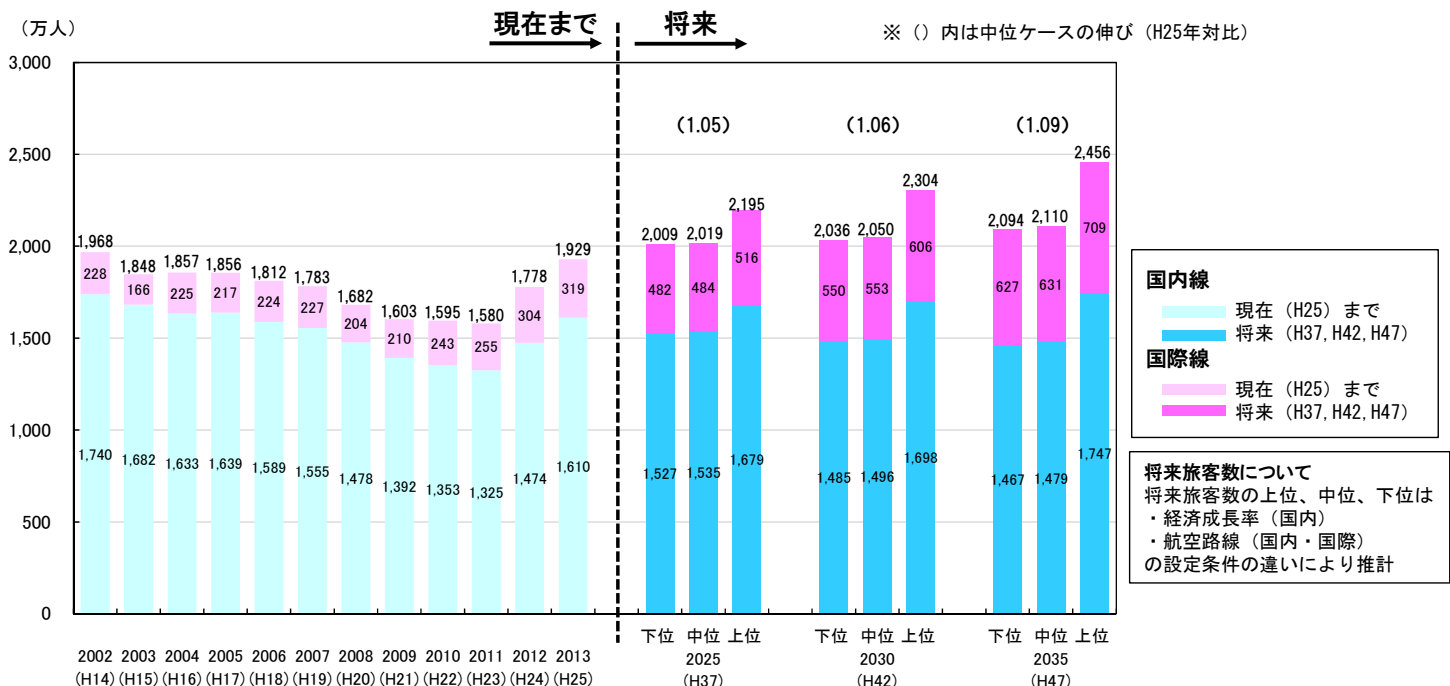


▲旅行速度とCO₂の排出原単位

資料: 主要アウトカム指標算出マニュアル (九州地方整備局)

(9) 福岡空港の将来(需要予測)

- 福岡空港の将来需要は増加が見込まれています(平成47年の年間旅客数は、2,094~2,456万人)
- 旅客数の増加に伴い、空港を利用する自動車も増加が想定されます



▲福岡空港の年間(国内+国際)旅客数の伸び

資料: 「福岡空港滑走路増設事業における新規事業採択時評価について」 (H26.12 国土交通省) を基に作成

このアンケートへのお問い合わせ先

〒810-8620

福岡市中央区天神 1 丁目 8 番 1 号

福岡市住宅都市局都市計画部自動車専用道路担当

TEL 092-711-4399

FAX 092-733-5590

E-MAIL senyoudou.HUPB@city.fukuoka.lg.jp